平成２１年９月２５日

各　位

会 社 名　昭和産業株式会社
代 表 者　代表取締役社長　横澤　正克
(ｺｰﾄﾞ番号 2004　東証・大証第１部)
問い合わせ先　経営企画部長　齋藤　規生
(TEL.　03-3257-2922)

会 社 名　日清オイリオグループ株式会社
代 表 者　取締役社長　大込　一男
(ｺｰﾄﾞ番号 2602　東証・大証第１部)
問い合わせ先　取締役　常務執行役員　藤井　隆
(TEL.　03-3206-5109)

昭和産業株式会社と日清オイリオグループ株式会社の業務提携に関するお知らせ

昭和産業株式会社（以下「昭和産業」という）と、日清オイリオグループ株式会社（以下「日清オイリオグループ」という）は、平成２１年９月２５日付けで、製油事業の競争力強化に係る業務提携契約を締結し、今後さらに提携内容の詳細につき協議を進めていくことを決定しましたのでお知らせします。

記

１．業務提携の目的

昭和産業は、「人々の健康で豊かな生活に貢献する」ことを企業理念として、製粉、油脂、ぶどう糖、配合飼料などの幅広い事業を有機的に展開し、それらのシナジーで独自の価値を提供する総合食品会社です。日清オイリオグループは、製油事業を基軸に、加工油脂事業、ヘルシーフーズ事業、ファインケミカル事業などの展開を通じて、「植物のチカラ」で新たな価値を創造し続ける国際企業グループを目指しています。

今般、油脂原料をはじめとした穀物相場環境は、多少緩んだとはいえ依然として旺盛な需要に支えられた高い相場水準が続いております。これからも、安全・安心な製品、サービスを安定的に提供していくために、本業務提携は、双方にとって製油事業の競争力強化が見込まれる分野に関し、両社が協同し取り組むものであります。

２．業務提携の内容

(1)本業務提携の骨子は下記の通りです。

①生産設備の有効活用による、油脂および油粕の相互供給

両社の保有する製油生産設備を有効活用し、双方の高い品質管理体制のもと、油脂および油粕の相互供給により、コスト低減を図ります。

②共通する原料、資材の効率的調達

捺油原料、容器包装資材、工場副資材の共同調達により、コスト低減を図ります。

③保有する物流拠点の共同活用

物流拠点の共同活用により、物流業務の効率化、コスト低減を図ります。

④顧客満足度向上を目的としたアライアンス構築

製品の相互供給、マーケティングノウハウ等の相互活用、両社が保有する品質知見の共有化により、安全・安心な製品を安定的に供給していきます。

⑤その他、双方にメリットのある経営資源の有効活用

３．今後の日程

両社メンバーによる業務提携分科会を設置し、今後のスケジュールおよび個別テーマの協議、検討を実施する予定です。

４．業績への影響の見通し

本業務提携が、平成２２年３月期の業績に与える影響につきましては、今後見通しが明らかになり次第改めてお知らせします。

５．昭和産業、日清オイリオグループの概要　　　　　　　　（平成２１年３月３１日現在）

⑴商号	昭和産業株式会社	日清オイリオグループ株式会社
⑵事業内容	製粉事業、製油事業、ぶどう糖事業、加工食品事業、飼料事業　他	製油事業、加工油脂事業、ヘルシーフーズ事業、ファインケミカル事業　他
⑶設立年月日	昭和１１年２月	明治４０年３月
⑷本店所在地	東京都千代田区内神田二丁目２番１号	東京都中央区新川一丁目２３番１号
⑸代表者	代表取締役社長　横澤　正克	取締役社長　大込　一男
⑹資本金	12,778 百万円	16,332 百万円
⑺発行済株式総数	180,649 千株	173,339 千株
⑻純資産	49,783 百万円（連結）	107,498 百万円（連結）
⑼総資産	143,637 百万円（連結）	217,487 百万円（連結）
⑽決算期	３月	３月
⑾従業員数	1,766 名（連結）	2,724 名（連結）
⑿主要取引先	伊藤忠商事㈱、ユアサ・フナショク㈱、三井物産㈱、全国農業協同組合連合会　他	三菱商事㈱、丸紅㈱、国分㈱、全国農業協同組合連合会　他
⒀大株主構成および持株比率	伊藤忠商事㈱　9.61% 双日㈱　5.87% 日本興亜損害保険㈱　4.73% ㈱千葉銀行　4.63% 三井物産㈱（常任代理人資産管理ｻｰﾋﾞｽ信託銀行㈱）　4.26%	三菱商事㈱　16.63% 丸紅㈱　15.00% 日本ﾄﾗｽﾃｨ･ｻｰﾋﾞｽ信託銀行㈱　8.68% 日本ﾏｽﾀｰﾄﾗｽﾄ信託銀行㈱　6.65% ㈱損害保険ｼﾞｬﾊﾟﾝ　4.25%

以　上